キャラクター名	プレイヤー名
久慈　悠暁(くじ　はるとき)	

シンドローム	モルフェウス サラマンダー	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	自宅警備員(源支部支部長)
オプショナル		年齢	多分29くらい	性別	男

覚醒	素体	衝動	嫌悪	初期侵食率	31 %
出自	犯罪者の子	経験	汚れ仕事	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0		3	7
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0		1	2
社会	2	0	0			2

HP	36
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：〈運転：四輪〉	2		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品(刻印)	
メモリー『誰か』(感情：懐旧)	
コネ：UGN幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体(ロストナンバー)	P	N		
セメテリーホテル(シナリオ)	P 好奇心	N 無関心		
源支部(固定)	P 幸福感	N 悔悟		
鮎瀬　マヒロ(固定)	P 信頼	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
CR：モルフェウス	1	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：C値-LV。								
ヴィークルモーフィング	1	2	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動		
効果：乗り物作成								
巨匠の記憶	3	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：判定D+LV個。＜運転＞＜情報＞＜芸術＞＜知識＞と組み合わせ可。								
クリスタライズ	3	4	ﾒｼﾞｬｰ			対決	100↑	
効果：攻撃力+[LV×3]。装甲無視。								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果：カバーリング。行動済みでも使用可。								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動		
効果：[LV×10]m離れたPCのカバーリング可。								
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動		
効果：ガード値+[LV×5]								
万能器具	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動		
効果：日用品を作る								
壁抜け	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動		
効果：障害物を無視して移動								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

源(ミナモト)支部、通称：源氏(ゲンジ)の支部長。
自動車を生成して、轢殺しながら部下を護る系支部長。
めちゃくちゃやる気がない。気づいたらその辺で寝てる。
部下ちゃん(鮎瀬マヒロ)に尻叩きされまくってようやく重い腰を上げるが、すぐにまたごろごろしだす。
やる気になれば優秀な人間。でもめったにならないので知らない人からは大抵見下されてる。でも気にしない。
どうでもいい人からの印象なんて興味ないもん。

支部のメンバーはほとんどが問題児だったり実験の被害者を引き取ったりと無法地帯。なんだかんだ信頼されているが気づいていない。支部長には相応しくないと思っているので、いつでも譲る準備はできている。
鮎瀬マヒロ以下部下たちに対しては、「自分みたいなのの下につけられてて可哀想だなあ。君たちはこの上なく優秀な子たちなのに」と思っている。
だからせめて護るくらいはさせてよ。そうしていつか自分の元から旅立っていってね。
部下たちのことはすごく信頼してるし大好きなので、傷つけられたらキレて相手を害しに行く。

父親が無差別殺人事件を引き起こした大犯罪者。殺した数は2桁を軽く超え何年もの間に渡って殺しを続けていたが、妻を殺したことから足がつき逮捕された。そのとき久慈はわずか8歳。
その日のうちに、FH関連の研究所に売られる。
研究所には犯罪者の子供ばかりが集められており、ある程度人間的な暮らしをした後に殺し合いをさせられた。その部屋の人間をすべて殺したら次の部屋、その部屋の人間も殺したらまた次の部屋、また次の部屋、次の部屋。そこは紛れもなく、地獄だった。(要は「蠱毒」をしてた)
気が狂いそうになりながら迎えた最後の部屋で殺されそうになるが、「死にたくない」その一心で気づけば周りは火の海と銃弾の雨。